

EiCOM オートサンプリングインジェクタ

M-510/514

M-510シリーズは、マイクロダイアリシスサンプルなど微量の試料を高精度に自動分析するためにデザインされたオートサンプリングインジェクタです。

EiCOM製微量生体試料分析システムと組み合わせることにより分析作業の省力化を実現します。

特 徴

●連続自動分析

最大96サンプルの連続自動分析が可能

●微量サンプル対応

必要なサンプル容量は、注入量+3 μ Lとごく少量のため貴重なサンプルを無駄なく分析可能

●高精度注入

サンプルの計量に高精度金属製シリンジおよびシリンジの駆動に高性能パルスモーターを使用
高精度(注入量再現性 RSD<0.5%, 5 μ L以上注入のとき)の分析を長期間維持します

●メンテナンスサイクル

高耐圧・長寿命インジェクションバルブを採用
頻繁なメンテナンスは必要ありません

●サンプル冷却

冷却機能を標準装備
貴重なサンプルの変質を防ぎます

●EiCOM製サンプリングシステムとの親和性

EiCOM製フラクションコレクタEFC-82用サンプルラックをそのまま使用可能

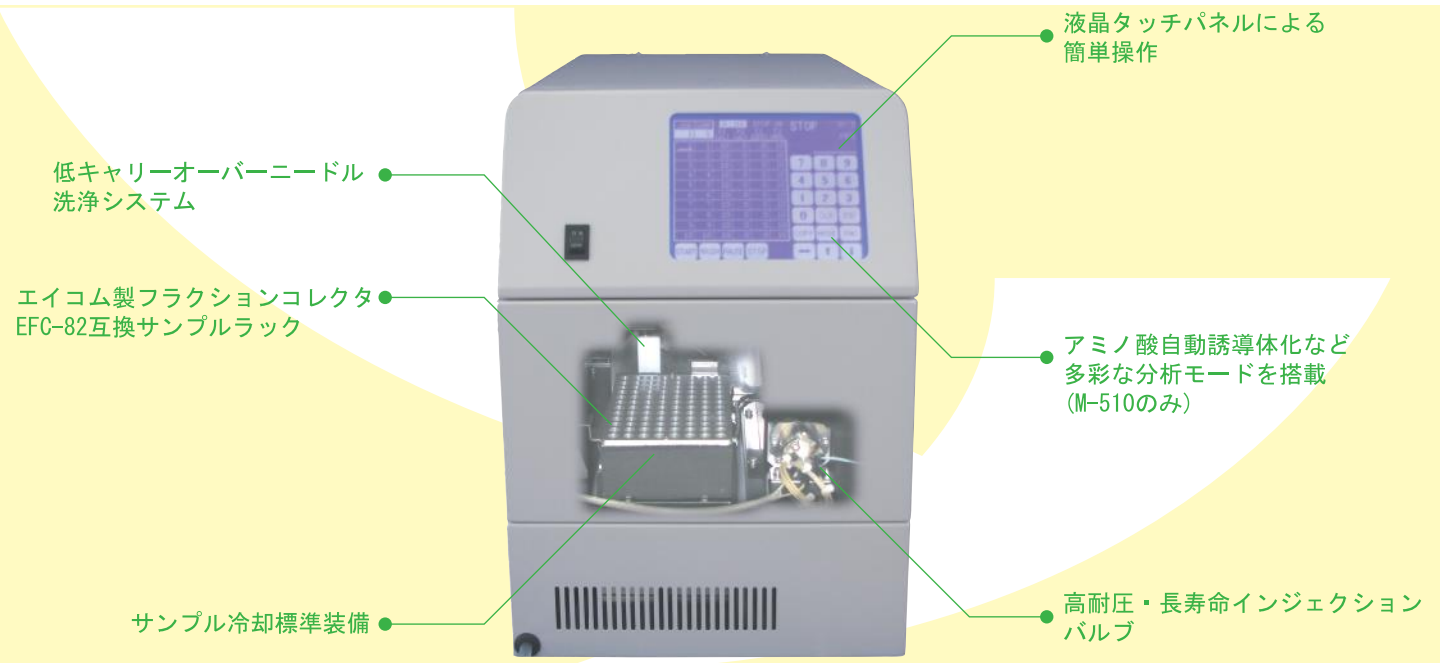
●注入モード

M-510では、自動誘導体化アミノ酸分析モードなど、多彩なサンプル注入モードを搭載

●緊急自動停止機能

EiCOM製微量生体試料分析システム HTEC-500および700シリーズからのポンプエラー信号を感知して分析シーケンスを一時中断
万が一のポンプエラー発生時に貴重なサンプルの損失を最小限にとどめます





多彩な注入モード

NAモード

通常分析モード。任意の順番でサンプルを注入。

CAモード

マイクロダイアリシス (MD) サンプリングでよく用いられるサンプル注入シーケンスをプリセット済。

AAモード (M-510のみ)

アミノ酸分析のための自動誘導体化モード。予めサンプルラック上にセットした誘導体化試薬とサンプルを自動混合し、設定した反応時間経過後に注入します。

GUモード (M-510のみ)

エイコム製酵素カラムを用いるグルタミン酸分析用注入モード。サンプルの注入から任意の時間経過後に標準物質を追注入します。

仕様一覧

	注入モード			
	NA	CA	AA *	GU *
最大試料数	96	96	40	80
同一試料繰り返し注入回数	1-96	1	1	1
分析時間	1 - 999 分			
試料注入量	1 - 50 μ L (1 μ L step)			
内蔵サンプルループ容量	100 μ L			
注入再現性	CV \leq 0.5 % (5 μ L 以上注入の場合)			
サンプルデッドボリューム	吸引量-注入量 = 3 μ L (最少必要量)			
注入針洗浄方式	液・空気併用		内・外洗浄	
バルブ耐圧	最大 40 MPa (通常設定 30 MPa)			
接液部材質	バルブ	PEEK, SUS		
	注入針	SUS		
	チューブ	PTFE, PEEK		
発信信号	SIG. 1	接点信号 (0.5 sec) injectと同時に		
	SIG. 2	接点信号 (0.5 sec) SIG. 検信より 3sec 遅れ		
信号入力	ポンプエラー信号 (接点信号) による緊急停止			
サンプルラック冷却方式	電子冷却式			
サンプルラック冷却範囲	4°C - 室温 (実用冷却下限: 周囲温度 -20°C)			
使用バイアル	エイコム製 SV-08			
寸法	255 mm (W) 385 mm (D) 365 mm (H)			
重量	約 17 kg			
電源	AC 100V 50/60 Hz 3A			

*AAモードおよびGUモードはM-510のみに搭載

改良のため、予告なく外觀・仕様が変更となる場合があります。



本社：京都市伏見区下鳥羽北円面田町113 〒612-8497
 TEL 075-622-2112 (代表) FAX 075-622-2114
 東京営業所：東京都文京区本郷1丁目12-7甲田ビル3F 〒113-0033
 TEL 03-3818-5223 (代表) FAX 03-3818-4540

Web: <http://www.eicom.co.jp> (日本語)
<http://www.eicom-usa.com> (English)